

部門	受賞者	評価のポイント
女性の活躍推進部門 社会における	株式会社 サニーライフ (企業、北九州市小倉北区)	女性の意見を取り入れて新サービスに繋げる「WOMANSプロジェクト」が社員の成長や働きがいの創出に繋がっている。プロジェクトには役職や社歴に関係なく全ての女性社員が参加するもので、過去に提案された地域清掃やフードバンク、子ども食堂イベント、絵本配布などのプロジェクトは、現在も継続して実施されている。冠婚葬祭業で、年中無休24時間稼働の業種でありながらも、年休取得や育児・介護との両立などワークライフバランスに配慮した働き方の見直しを行い、施設のリニューアルを実施して女性の職域拡大と管理職への登用が進み、本年の新卒採用は全員女性であった。
	株式会社 ChouChou (企業、福岡市東区)	子育て中の保育士、看護師や調理師などの多職種を掘り起こして雇用することで女性活躍の場を提供し、女性管理職として「リーダー」を登用して研修を行うなどキャリア形成にも力を入れ、さらなる女性活躍の場も提供。創業当初から個別のニーズに応じて勤務日数も柔軟に対応する「子連れ出勤制度」を導入しており、9割以上の社員がこの制度を利用している。 職場アンケートで業務を振り返り、仕事と悩みの「見える化」をして業務棚卸表・業務分掌を整備することで職務の役割を明確化し、保育士のキャリアアップにも活用。常勤・非常勤の同一労働同一賃金を実現している。
	有限会社 Miyamaコーポレーション (企業、糟屋郡宇美町)	女性でも大型のトラックの運転ができるよう、本人の希望により会社が費用負担をしてスキルアップできる制度を整備し、トレーラー免許の取得も支援。お互いの仕事をカバーし合えるしくみを整備し、出産や介護、家族の病院付き添いや子どもの学校行事参加などプライベートも大切にできる働き方を実現。社内での託児も実施し、夏休み期間など必要に応じて子ども連れでも出勤が可能な環境を整備し、女性ドライバー比率が業界平均で2%であるなか、同社ではこれを大きく上回る25%の女性ドライバーが活躍している。
困難な状況にある 女性の自立支援部門	国際ソプロチミスト飯塚 (団体、飯塚市)	国際ソプロチミスト飯塚は、女性と女兒の夢を応援するソプロチミストの理念のもと、飯塚市男女共同参画推進センターの登録団体としても活動している。毎年、飯塚市役所にリボンツリーを設置し、DV防止のためのパープルに加え、乳がん早期発見(ピンク)、児童虐待防止(オレンジ)、障がい者週間(イエロー)の各期間の啓発活動も行っている。さらに障がいのある女性を対象に開催している華道講座は今年で43年目を迎え、日常生活訓練や障がい者の自立・交流の場として機能させるなど、女性と女兒の自立支援に長年取り組んでいる。
女性の先駆的活動部門	赤根 美也子 (個人、福岡市博多区)	福岡市消防団の女性消防団員として25年間活動し、水火災出動だけでなく、救命救急や防災・救命・火災予防、独居高齢者及び高齢者世帯火災予防指導員としても活躍しており、地域の自主防災訓練や火災予防、防災の各種訓練に積極的に参加しながら、リーダーとしての職責も担っている。高齢者世帯や女性世帯の調査で大きな役割を果たしており、団員からの信頼も厚く、出動現場でも安全管理や団員の指導に積極的に取り組んでいる。赤根さんの入団を契機に女性団員が増員され、住吉分団には現在6名の女性団員が活躍している。
	吉田 典子 (個人、久留米市)	女性医師が約20%といわれている日本の医療界で循環器内科医として活躍し、地域医療に大きく貢献している。心臓リハビリテーション/循環器疾患と運動に関わる研究を行い、心臓病や生活習慣病など運動に注意が必要な人々に、個別の病状や体力、目標に応じた安全な運動の指導を行ってきた。地域の健康教室やスポーツクラブでの運動指導にも携わり、健康寿命の延伸やフレイル予防など運動/スポーツと医療の連携促進に先駆者的立場で貢献している。現在、久留米大学人間健康学部学部長、同学部スポーツ医科学科教授として、保育、子育て、スポーツ、健康の分野で実践的な活躍ができる次世代の人材育成にも力を注いでいる。